

安全の手引き

2013年1月31日改訂

在シカゴ日本国総領事館

目次

はじめに	・・・ 2
I 最近の治安情勢	
1 シカゴ市	
2 シカゴ市近郊の町	・・・ 3
3 管轄区域内主要都市の罪種別犯罪発生状況	
II 安全対策	・・・ 8
1 安全対策の基本的心構え	
2 防犯のための具体的注意事項	
3 交通事故対策	・・・ 13
4 法律・習慣の違いによるトラブル	・・・ 16
III テロ、大規模自然災害等緊急事態発生時の対応	・・・ 18
1 在留届の提出	
2 平素の準備	・・・ 19
3 発生時の措置	・・・ 20
4 テロ関係	
5 オンライン安否照会システム	
6 シカゴ地域緊急連絡先	・・・ 21
別紙1 管轄区域内主要都市の罪種別犯罪発生状況	
別紙2 緊急事態に備えてのチェックリスト	

～ はじめに ～

近年、海外へ渡航する日本人の増加に伴い、日本人が事件・事故や自然災害に巻き込まれるケースが後を絶ちません。犯罪や交通事故は日々発生しており、また、2001年9月11日のニューヨークにおける同時多発テロや、巨大ハリケーン等、ここ米国においても一度に多数の死傷者が出る事態が現に発生していることから、安全確保は海外で生活する誰もが検討しなければならない重要な課題であると言えます。

事件・事故等に巻き込まれないためには、日頃から安全情報に関心を持ち、地域の治安情勢を把握の上、安全対策の基本的な留意事項を守って行動することが大切です。

この手引きが、当館管轄区域内に居住する在留邦人の皆様の安全な海外生活の一助となれば幸いです。

I 最近の治安情勢

1 シカゴ市

(1) シカゴ市警が発表した2012年の犯罪統計によれば、シカゴ市における主要な犯罪の総発生件数は約78,000件に上り、前年と比較して約9%減少したものの、引き続き高水準となっています。このうち、殺人事件の発生件数は513件で、前年比約15%も増加しております。シカゴ市では犯罪の発生件数は3年連続で減少しましたが、日本の犯罪発生率と比較すると、依然としてかなりの高水準を維持しており、決して楽観視はできません。

※参考：シカゴ市（人口約270万人）と東京都（人口約1,300万人）の比較

	シカゴ	東京
殺人	513	117
強姦	1,381	178
強盗	13,447	565

(単位：件)

注1：東京都のデータは2012年のもの（出典：警視庁HP）

注2：東京都の殺人件数には未遂も含む（シカゴ市は含まない）

(2) シカゴ市警は下記ホームページ上において、最新の犯罪統計を毎週公表

しています。現在の犯罪発生状況を確認し、防犯に役立てて下さい。

<https://portal.chicagopolice.org/portal/page/portal/ClearPath>

「NEWS」 → 「Crime Statistics」

2 シカゴ市近郊の町

(1) 在留邦人が多数居住しているアーリントンハイツ、シャンバーグ、ホフマンエステーツ等のシカゴ市郊外の治安は、シカゴ市と比べてはるかに良好ですが、自動車盗や車上狙い等の財産犯罪は日常的に発生しており、特に、シャンバーグは財産犯罪の発生率が、全米平均より高く、日本よりも高い防犯意識を持つことが必要です。

※ 参考（主なシカゴ近郊の町の犯罪発生件数等、FBI が公表の 2011 年統計）

	凶悪犯罪 (件数)	凶悪犯罪 (発生率)	財産犯罪 (件数)	財産犯罪 (発生率)
Arlington Height	48	63.72	1,083	1,437.73
Buffalo Grove	9	21.62	432	1,037.94
Elk Grove Village	17	51.16	817	2,458.84
Hoffman Estates	68	130.64	682	1,310.25
Schaumburg	63	84.62	2,358	3,167.23
全米平均		386.3		2,908.70

注1：凶悪犯罪：殺人，強盗，強姦，傷害

注2：財産犯罪：侵入窃盗，窃盗，自動車窃盗

(2) アーリントンハイツ警察では、メールマガジン登録者に対して管内の犯罪情報を随時発信しています。1週間分の犯罪の発生箇所を示した犯罪マップや、犯罪発生の都度速報が注意喚起として配信され、大変参考になります。メールマガジンは、Eメールまたは携帯電話のテキストメールで受信できます。登録は無料ですので、アーリントンハイツ及びその近郊に居住または勤務されている方はぜひ登録して、防犯の参考にしてください。アーリントンハイツ以外にも、Niles や Gurnee, Aurora 等、いくつかの警察が同じサイトからメールマガジンを登録できるようにしていますので、お住まいの地域を管轄している警察が参加していないか、一度ご確認下さい。

<登録方法>

- ① www.citizenobserver.com を開く。
- ② 右上の communities をクリックし、居住地域を選択。
- ③ 登録したい警察を選択し、Sign up for Alerts を選択する。
- ④ 以後、画面の指示に従って登録を進める。

3 管轄区域内主要都市の罪種別犯罪発生状況（2011年統計）

FBI が公表している犯罪統計を基に在留邦人が多く住んでいる主要な都市を抜き出した一覧表を作成して別紙にしましたので、参考にして下さい。なお、当館によるコメントは以下のとおりです。

(1) 管轄区域全体

ア 犯罪発生件数

当館管轄 10 州のうち、インディアナ州及びサウスダコタ州を除く 8 州で、凶悪犯罪、財産犯罪共に前年比で減少しました。なお、全米では凶悪犯罪が対前年比で 3.8% 減少したのに対し、これを上回る減少があったのは、ネブラスカ州 (8.4% 減)、ミネソタ州 (5.5% 減)、サウスダコタ州 (4.8% 減)、アイオワ州 (4.5% 減)、ウィスコンシン州 (4.5% 減)、カンザス州 (4.2% 減) の 6 州で、また、全米では財産犯罪が対前年比で 0.5% 減少したのに対し、これを上回る減少があったのは、ウィスコンシン州 (2.7% 減)、サウスダコタ州 (1.4% 減)、ミズーリ州 (1.0%)、イリノイ州 (0.9% 減)、カンザス州 (0.8% 減) の 5 州で、管轄区域全体の治安改善傾向は全米平均よりも若干鈍いと考えられます。

イ 犯罪発生率（人口 10 万人あたり）

人口 10 万人当たりの凶悪犯罪発生率は全米平均で年 386.3 件で、当館管轄 10 州では、ミズーリ州 (447.4 件) とイリノイ州 (429.3 件) の 2 州がこれを上回っています。また、同じく人口 10 万人当たりの財産犯罪発生率は全米平均で年 2,908.7 件で、ミズーリ州 (3,308.8 件)、インディアナ州 (3,161.8 件) 及びカンザス州 (3,080.1 件) の 3 州がこれを上回っています。このことから、管轄各州における犯罪発生率は全米平均と比べて良好な州が多いと言えます。なお、強姦罪に関しては、前述同様の全米平均発生率 (26.8 件) をウィスコンシン州及びミズーリ州を除く 8 州が上回っており、これらの州では強姦に注意する必要があると言えます。また、その他の犯罪についても、日本の水準と比較すると、依然としてかなりの高水準となっています。

(2) イリノイ州

ア 州全体では、凶悪犯罪発生件数が前年比 3.3% 減と若干減少したものの、

発生率は依然として全米平均を約 11%上回っており、管轄 10 州の中でもミズーリ州に次いで高水準です。特に、全米平均と比べて、殺人の発生率は約 20%、強盗の発生率は約 40%と非常に高く、また、強姦罪が前年比 20%増と大幅に増加しています。一方、財産犯罪は、前年比 0.9%減少し、発生率も全米平均を下回っています。罪種別の発生件数では、殺人、強盗、強姦、侵入窃盗が前年より増加しています。

イ 中心都市であるシカゴ市は、強姦罪の計上方法が FBI と異なることから、凶悪犯罪の発生率は公表されていません。一方で、殺人の発生件数が 513 件と他の都市と比べて突出して多いほか、強盗も非常に多数発生しているため、凶悪犯罪発生率は全米平均を大きく上回るものと推測されます。更に、財産犯罪発生率 (4,373.2) も全米平均 (2,908.7) より 50%以上高く、治安が良いとは決して言えないと考えられます。

ウ 日本人学校や日系スーパーがあり、日系企業、在留邦人が多く集まっているシカゴ市北西郊外のアーリントンハイツやその周辺では、一部を除き凶悪犯罪、財産犯罪共に全米平均を大きく下回り、治安が良好であると言えます。他に州内で特に注意を要する市としては、シカゴ市西部の Oak Park、イリノイ州南部の Urbana、Carbondale の各市は犯罪発生率が非常に高くなっています。

(3) インディアナ州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ増加しています (それぞれ 3.1%及び 3.4%増)。凶悪犯罪発生率は全米平均を下回っているものの、財産犯罪発生率、特に侵入盗と窃盗の発生率は全米平均を上回っています。罪種別の発生件数では、ほぼ全ての犯罪が前年より増加し、殺人に関しては、前年より約 140 件 (16.4%) と大幅に増加しています。

イ 在留邦人が多い都市の殆どは、凶悪犯罪の発生率は全米平均を下回っている反面、財産犯罪の発生率が全米平均を上回るケースが多く、特に、Terre Haute, Columbus, Seymour の各市では、財産犯罪の発生率が全米平均の約 2 倍以上となっているので、注意が必要です。

(4) アイオワ州

ア 州全体では、凶悪犯罪の発生件数は減少しましたが (4.5%減)、財産犯罪の発生件数は増加しています。(3.8%増)。犯罪発生率は比較的 low、凶悪犯罪が約 30%、財産犯罪が約 20%、それぞれ全米平均を下回っています。なお、罪種別の発生件数では、殺人及び財産犯が前年に比べて増加

しました。

イ 在留邦人が多い Iowa City は凶悪犯罪、財産犯罪とも犯罪発生率は全米平均を下回っていますが、Cedar Rapids は財産犯罪の発生率が全米平均を約 25% 上回っています。また、州都デモインは、凶悪犯罪（約 1.3 倍）、財産犯罪（約 1.6 倍）共に発生率が全米平均を大幅に上回っています。

(5) カンザス州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ減少しました（それぞれ 4.2% 及び 0.8% 減）。凶悪犯罪の発生率は全米平均を若干下回っているものの、強姦の発生率は全米平均より約 40% も高くなっています。また、財産犯罪の発生率も全米平均を若干上回っています。罪種別の発生件数では、自動車盗が前年に比べて 10% と大幅に増加しました。

イ 在留邦人の多い Overland Park は犯罪発生率が低いものの、州の中心都市ウィチタは凶悪犯罪（約 2 倍）、財産犯罪（約 1.4 倍）共に発生率が全米平均を大幅に上回っています。

(6) ミネソタ州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ減少しましたが、（それぞれ 5.5% 及び 0.1% 減）。犯罪発生率は比較的 low、凶悪犯罪が 40% 上、財産犯罪が 10% 以上、それぞれ全米平均を下回っていますが、強姦の発生率は全米平均より約 20% 高くなっています。また、罪種別の発生件数では侵入窃盗が前年に比べて約 5% 増加しました。

イ 在留邦人が多く住む経済の中心都市ミネアポリス及び政治の中心都市セントポールのいずれも、犯罪発生率は非常に高く、注意が必要です。全米平均と比べて、ミネアポリスは、凶悪犯罪の発生率が約 2.5 倍、財産犯罪の発生率が約 1.7 倍、特に、強姦の発生率は約 3.8 倍と非常に高くなっています。また、セントポールは全米平均と比べて、凶悪犯罪の発生率が約 1.7 倍、財産犯罪の発生率が約 1.4 倍となっています。

(7) ミズーリ州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ減少しました（それぞれ 2.0% 及び 1.0% 減）。しかし、犯罪発生率は高く、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生率が全米平均の約 1.2 倍であり、強姦及び強盗以外の全ての主要な犯罪発生率が全米平均を上回っています。特に、殺人の発生率は、全米平均を約 30% も上回っています。また、罪種別の発生件数では、前年に比べて、強盗が約 1.4%、強姦が 0.9%、侵入盗が 1.4%

増加しています。

イ 州の中心都市であり在留邦人も多く住むカンザスシティ及びセントルイスは、全米でも有数の犯罪多発都市であり、注意が必要です。全米平均と比べて、カンザスシティは、凶悪犯罪の発生率が約 3 倍、財産犯罪の発生率が約 1.9 倍、セントルイスに至っては、凶悪犯罪の発生率 4.3 倍、財産犯罪の発生率が約 2.8 倍となっています。

(8) ネブラスカ州

ア 州全体では、凶悪犯罪の発生件数は前年比で約 9%減少しましたが、財産犯罪の発生件数は 3.9%増加しました。犯罪発生率は比較的 low、凶悪犯罪が約 35%、財産犯罪が約 10%、全米平均を下回っていますが、強姦の発生率は、全米平均と比べて約 40%高くなっています。また、罪種別の発生件数では、前年に比べて、殺人 (24.1%)、強姦 (3.1%)、侵入窃盗 (4.8%) 及び自動車盗 (3.0%) 増加しました。

イ 在留邦人が多く住む州の中心都市オマハは犯罪発生率が高く、凶悪犯罪及び財産犯罪の発生率は全米平均の約 1.5 倍です。また、州都リンカーンは、財産犯罪の発生率が全米平均の約 1.3 倍となっています。

(9) ノースダコタ州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ大きく増加しました。(それぞれ 9.1%及び 10.3%増)。犯罪の発生率は比較的 low、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生率が全米平均よりも 35%低いですが、強姦に関しては、全米平均の約 1.5 倍です。また、罪種別の発生件数でも、全ての主要な犯罪が前年よりも増加しました。

イ 州の中心都市であるファーゴにおいても犯罪発生率は全米平均と比べて低く、邦人が集まっている都市の治安は比較的良い状況です。

(10) サウスダコタ州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ減少しました。犯罪発生率も比較的 low、凶悪犯罪は約 35%、財産犯罪は約 40%、全米平均よりも低くなっています。罪種別の発生件数では、強盗 (+8.4%)、強姦 (+28.8%)、自動車盗 (+18.3%) が大幅に増加しました。

イ 4 人の大統領の石像で有名なマウント・ラッシュモアがあり邦人観光客も多く訪れるラピッドシティは、犯罪発生率が高く、注意が必要です。同市では、全米平均と比べて、凶悪犯罪の発生率が約 1.2 倍、財産犯罪の発生率が約 1.5 倍となっています。

(11) ウィスコンシン州

ア 州全体では、凶悪犯罪、財産犯罪共に発生件数が前年に比べ減少しました（それぞれ4.5%減、2.7%減）。犯罪発生率は比較的lowく、凶悪犯罪が約40%、財産犯罪が約15%、全米平均を下回っていて、全米平均よりも発生率が高い特定の犯罪ありません。罪種別の発生件数では、前年に比べて、自動車盗が1%増加しました。

イ 州の中心都市であり在留邦人も多く居住しているミルウォーキーは、犯罪発生率が高く、注意が必要です。同市では、全米平均と比べて、凶悪犯罪の発生率が約2.5倍、財産犯罪の発生率が約1.7倍となっています。

II 安全対策

1 安全対策の基本的な心構え

- (1) 自分と家族の安全は、まず自分たち自身で守るという意識を持つ。
- (2) 常に最悪の事態を想定して準備を行う。
- (3) 住居の安全を確保することは生活の基礎となるため、ホテル、住居選びには安全性を最優先する。
- (4) 普段から、隣人やコミュニティ等と良好な人間関係を築くように努め、情報交換を行う。
- (5) 新聞、テレビ、インターネット等により、現在どのような犯罪が発生しているのか、治安情報の収集に努める。
- (6) 「安全のための3原則」
 - ①目立たない
：場違いな服装、装飾品、高級車を避ける。カメラを首から下げたり、地図を広げて歩いたりして、いかにも旅行者という印象を与えない。
 - ②行動を予知されない
：違う道、違う時間を選んで通勤する等、行動をパターン化しない。
 - ③用心を怠らない
：慣れた頃が要注意。

2 防犯のための具体的な注意事項

(1) 住居の防犯対策

ア 居住地域の選定

一般的には、次のような地域の治安はあまりよくないことが多いので、注意してください。

- 昼間なのに、人通りが少ない、あるいは、男達が仕事もしないでたむろしている。
- 商店の入口や窓が鉄格子で頑丈に守られている。
- 道路にゴミが散乱しており、壁に落書きが多い。

イ 家の選定

次のような家は防犯上弱いと言えますので注意してください。

- 表通りから見えない家。
- 塀や樹木等により外部からの死角が多い家。
- 夜間、周辺の照明が十分でなく、周囲が暗い家。
- アパート、マンションの場合、不審者が入ってこないよう、入口に警備員またはドアマンがいる物件をおすすめします。

ウ 平素の防犯措置

- 常に戸締りの確認をする習慣をつける。
- 家の鍵を植木鉢や玄関マットの下に置いたりしない。
- 出入口や窓は、可能であれば、複数の錠や鎖等で強化する。
- 来客があっても、すぐにドアを開けない。必ずのぞき穴から相手を確認する。子供にもその旨言い聞かせる。
- 玄関や庭先には、十分な照明を取り付ける。人や物の動きに反応するセンサー式のライトは防犯上有効。
- 不在家庭と悟られないように、夜間、タイマーにより家屋の照明を点灯させる等の工夫をする。
- 長期間留守にする際は、信用のおける近隣の人に注意を払ってもらおうようお願いする。また、新聞、郵便物の配達を中断する手続きをする。

(2) 外出時の防犯対策

ア 貴重品の管理

- 多額額の現金は持ち歩かないようにする。
- 現金はできるだけ複数の財布やポケットに分散して持つ。
- 人前でむやみに財布や現金を手にししない。
- 旅券を所持する場合は、体から離さず、常に身に付けるようにする。
- ズボンの後ろポケットに入れた財布はスリの恰好の標的となるので、財布は胸ポケット等にしまう。
- ポシェット、リュックサックなどは、気付かないうちに背後からナイフで切られることもあるので、貴重品は入れない。特に人混み

の中では体の前に抱えるように所持する。

イ 移動時

- 深夜，早朝の一人歩きはできるだけ避ける。特に女性は注意。やむを得ず徒歩で外出する場合は，人通りの少ない所，街灯のない暗い所は通行しない。
- 犯罪が多発している地域にはたとえ昼間，車であっても近づかない。
- 知らない者が呼びかけてきたり，近づいてきたりした場合，たとえ一見親切そうな相手でも，警戒を怠らない。スリ集団は，呼びかけて注意を引く者，その隙にスリを行う者など任務分担して犯行に及ぶ。
- iPod等を使用して音楽を聞きながら，あるいは携帯電話を使用して通話やメールしながら歩いているときには，周囲の状況に気づかず，気がついたときには強盗グループに囲まれたり，ひったくりに遭ったりすることがあるので，十分注意する。iPod等のデジタルオーディオ機器やiPhone等のスマートフォンはオークション等で売れるため，犯人に狙われやすい。

ウ レストラン，ホテル，空港等

- レストランや空港待合室など公共の場所では，たとえ短時間でも，荷物を床や机，椅子などに置いたまま席を離れない。
- ホテルのチェックイン等で手荷物を床等に置かざるを得ない場合は，知人に見張りを頼むか，両足で挟むようにする。
- ホテルでは，貴重品はセーフティボックスに預ける。
- ホテル客室に來客があっても，不用意にドアを開けず，必ずのぞき穴から相手を確認する。

エ 被害に遭ったときは

- 万が一，強盗に遭った場合は抵抗しない，また，ひったくりに遭った場合も引きずられる危険があるので，抵抗せず荷物から手を離す。犯人は狙った物はなんとしても盗んでいくため，自分の身の安全を第一に考える。
- ジャケットの内ポケットから財布を取り出そうとする等，武器を取り出すと犯人に誤解されるような行動は取らず，現金の位置を示して，犯人に取らせる。
- 可能な範囲で，犯人の顔，人種，年齢，背丈，体格，髪型，服装，言動，車のナンバー等を記憶し，警察に通報する。

(3) 自動車使用時の防犯対策

ア 運転中

- 危険地域を通過する際は、ドアロックを確認し、窓を閉め、中央寄りの車線を通行する。
- 見知らぬ者に停止を求められても、絶対に応じない。
- 信号待ち等で停車中も周囲の状況に注意する。信号待ち中に窓が開いている車を狙う強盗もいる。

イ 駐車の際

- 駐車する際は、できるだけ明るい場所を選び、人気のない暗い場所は避ける。可能であれば路上駐車を避け、係員がいる駐車場にする。
- 車から離れる際は、貴重品はできるだけ携帯する。GPS ナビゲーションや、iPod 等は、接続コードを含めて取り外しておく。
- やむを得ず車内に荷物を残しておく場合は、トランク内などの車外から見えない場所に移す。その際も、誰かに見られていないか用心する。
- パーキングメーターの支払い、ガソリンスタンドでの給油等、たとえ短時間の停車、駐車であっても、車から離れる場合は必ずドアをロックする。
- 車の乗り降りの際は、周囲に不審者がいないか確かめる。ドアを開けた瞬間を狙う強盗もいる。

(4) 最近増加している犯罪への対策

ア 振り込め詐欺

最近、日本では振り込め詐欺の被害が多発していますが、米国においても電話やインターネット、手紙を利用した様々な詐欺事件が発生していますので、ご注意下さい。特によくあるのは次のような詐欺メール事案です。

【事案A】知人を装った者からの旅先で盗難に遭ったとの相談

知人を装った犯人がメールで「旅先で盗難に遭い、所持金もクレジットカードも全てなくなった。代金をホテルに払わないとホテルから出してもらえず、このままでは飛行機に乗ることができないので助けて欲しい」等と申し立て、送金を要求する手口。

犯人は、何らかの方法で第三者のメールアドレスを不正に取得し、それを悪用しているものと思われます。その不正取得したメールアドレスのA

ドレス帳，あるいは送受信履歴を利用してメールを送付してくるため，一見して本当に知人からメールが来たように思われるので注意が必要です。お金を要求してくる不審なメールが届いたときは，慌てて送金せず，落ち着いて，以下のように対処して下さい。

- メールの体裁や言葉遣いが，普段のその人からのメールと比べて不自然な点がないか注意してよく読んでみる。
- メール送信元である知人の電話番号を知っている場合は，実際に本人に電話してみる。（メールを返信した場合，知人になりすました犯人がそれに呼応することがありますので，確認にはなりません。）
- 本人の電話番号がわからない，または電話しても連絡がとれない場合は，相手方の職場等，相手方をよく知っている人に本当にその旅先に行っているのか等を確認する。
- 同じ内容のメールが他の知人等に送信されていないか確認する（アドレス帳を利用した一斉送信の場合は，他の知人にも同じ内容のメールが来ている可能性が高い。）

【事例B】遺産相続詐欺

英国等に実在する大手銀行のChief Financial Officerを名乗る者から，ビルマ（文面のまま。現在のミャンマー。）で亡くなった日本人一家（手紙の送付先と同じ名字）の遺産について，相続人が判明しなかったことから現在口座が凍結されており，あなたを遺産相続人として手続きを開始したいので，連絡いただきたいとの手紙が届き，相手方の要求に従って相手に連絡を取った場合，遺産の現金化や海外送金の手数料，税金等の名目で多額の送金を求められ，送金後，全く相手方と連絡が取れなくなり，お金を騙し取られるという手口。

犯人は，何らかの方法で不正入手した在留邦人の個人情報に基づき，それらしく装った手紙を書いていると思われます。

万が一，このような手紙を受け取ったときは，不用意に対応することなく，詐欺の疑いがあるのではないかと冷静に考えることが重要です。例えば，これまでの事例ですと，大手銀行からの手紙であるにもかかわらず，会社名等が入ったレターヘッドが使用されておらず，また，封筒や紙は汎用品と思われるものが使用され，繰り返しコピーされたように印刷が非常に荒く，さらに相手のEメールアドレスのドメインがフリーメールのもの（@live.com）である等，不審な点がいくつもありました。

イ ID盗

米国ではクレジットカード及びデビットカードが広く普及しており、大変便利ですが、他方、ID 窃盗と言って、カード情報がさまざまな手口で盗み出され、悪用される被害が急増しています。こうした被害を防ぐためには、情報漏洩を未然に防ぐ対策を講じる必要があります。

- デビットカードやクレジットカードの暗証番号を設定する際は、容易に推測できるようなもの(誕生日、電話番号等)は避ける。
- フィッシング詐欺に注意し、電話やインターネットで個人情報を聞かれた場合は、安全性に確証が持てない限り、絶対に教えない。
- 郵便物を出すときは、郵便局等のポストを利用して確実に投函し、また、自宅の郵便受けから郵便物が盗まれないよう、鍵付きの郵便受けを使用する。
- レシート、銀行口座明細、クレジットカード明細、小切手等の個人情報が含まれた書類等を捨てるときは、復元できないように、細かく破るか、シュレッダーにかける。ゴミ箱をあさって、個人情報を盗んで転売する泥棒もいる。
- クレジットカードやデビットカードの明細は、毎月必ずチェックし、不正な利用がないか確認する。
- ソーシャル・セキュリティ・カードは、持ち歩かない。
- パソコンにはウイルス対策ソフトを導入し、常に最新の状態に保つ。
- インターネットを利用する際は、ファイアウォールを確実に有効にし、不正侵入されないようにする。
- 心当たりの無いメールに添付されたファイルを開いたり、リンク先をクリックしたり、添付されているプログラムをダウンロードしない。
- パソコンを廃棄する場合、ハードディスク内の個人情報を完全に消去する。

3 交通事故対策

米国の年間交通事故死者数は日本の6倍以上であり、非常に多くの死亡事故が発生しています。死亡事故の30%以上が飲酒に起因しており、主要な事故原因となっています。

車社会の当地では、車の運転は生活にどうしても必要ですが、運転にはくれぐれもご注意下さい。

(1) 運転の際の留意事項

- ア 日本との交通ルールの違いを理解する。例えば、米国においては多くの州で、赤信号においても、標識で禁止されている場合を除き、安全が確認できれば、右折できる。
- イ 速度の出し過ぎには十分に注意する。特に、高速道路では大型トラックが頻繁に通行しており、無理な追い越しは非常に危険を伴う。

ウ シートベルトを必ず着用する。万が一事故に遭った場合、シートベルトを着用していたか否かで、生存率が大きく異なる。

エ シカゴ市内における運転中の携帯電話の使用禁止

シカゴ市内では、911番などの緊急番号に通話中の者を除き、携帯電話を手を持って使用しながら運転することが禁止されている。通話をする際は、安全な場所に停車して行う。どうしても運転中に電話に应答する必要があるときは、外部スピーカーやマイク付イヤホン等のハンズフリー機器を使用する。

オ イリノイ州における運転中の携帯電話メールの禁止

イリノイ州では、運転中の携帯電話メールが禁止されている。州当局は、運転中のメール操作は違法なだけでなく、危険であると警告している。

※米国においては、各州、各自治体で法律が異なるため、お住まいの地域で運転中の携帯電話の使用が禁止されているかどうかは確認していただく必要がありますが、禁止する法律の有無にかかわらず、運転中の携帯電話の使用はどうしても注意散漫になりやすいので、事故に遭わないためにも、くれぐれもご注意下さい。

(2) 飲酒運転について

イリノイ州を含む米国ほとんどの州においては、21歳以上で血中アルコール濃度が0.08%以上（営業車の運転手は0.04%以上）が違反の基準となっています。21歳未満は僅かな飲酒でも違反となります。また、16歳未満の未成年者が同乗している場合は悪質な飲酒運転と見なされます。さらに、イリノイ州においては、栓の開いたアルコール飲料を車両内において運転した場合、たとえ飲酒していなくても、罰則は最高1000ドルの罰金及び1年間の免許停止となっています。

「日本と違ってアメリカでは酒気帯び運転検挙の基準が甘いので、ある程度の飲酒は大丈夫」という認識は誤り。たとえ、BAC検査値（血中アルコール値）が基準以下でも、正常な運転ができないと警察官に判断されれば検挙されます。飲酒運転で検挙された場合、警察に逮捕・拘留され、免許停止、車両登録の禁止、金等非常に厳しい措置がとられます。さらに、裁判費用や自動自動車保険が跳ね上がる等、飲酒運転をしたがために被る精神的、金銭的不利益は大きく、さらに飲酒運転により、人身事故を起こした場合取り返しのつかないこととなります。

酒気を帯びると正常な判断能力が低下することは科学的に立証されてお

り、飲酒しての運転は非常に危険です。在留邦人の皆様にあつては、普段から安全運転に心掛けておられることと思いますが、改めて「飲んだら乗らない」を厳守し、飲酒運転を行わないようお願いいたします。

(3) 冬の運転の留意事項

ア 路面凍結時は、急ハンドル、急ブレーキ、急発進等、「急」の付く操作はしない。

イ 冬期から春先にかけて、道路にしみこんだ水の凍結が原因で道路がひび割れし、道路に大きな穴が空くことが多いので、道路状況をよく見て運転する。特に見通しの悪い夜間は要注意。

ウ 厳冬期に車が故障し、動けなくなると、凍死等生命の危険にさらされるおそれがあるため、携帯電話及び車載充電器を携行し、万が一に備える。また、燃料は常に半分以上入れておく。バッテリー上がりに備えて、ブースターケーブルを積載しておく。防寒着や毛布を積んでおくと、万が一のときに役に立つ。

エ ブリザードの予報が出たときは、ブリザードが到達する前に運転を終えられるよう、余裕を持って帰宅する。ブリザードに巻き込まれると、道路が閉鎖され、動けなくなる可能性がある。

(4) 交通事故の場合の措置

ア 負傷者がいるときは、911番に電話して救急車を呼ぶか、他の車を止める等して救急車に連絡してもらう。負傷者を動かせると判断できれば、安全な場所に避難させる。

イ 事故車両が交通の妨害になっている場合には、当事者同士が事故の場所を確認した上で、車を路肩側に移動させる。この際、双方の車両の位置と車の衝突個所に印を付けるか、写真撮影、スケッチ等をして、現場の再現ができる措置をとる。ガソリンが漏れている等の危険な状況であれば、車両を移動させず、当事者全員が遠くに避難する。

ウ 目撃者がいれば確保する。

エ 911番に電話して警察に通報し、現場検証を依頼する。

オ 車のトランクを開け、事故車であることを他の車に分かるようにし、追突等の二次事故を防止する。

カ 事故当事者同士は安全な場所に移動し、お互いに運転免許証や身分証明書等で相手の氏名、住所、電話番号、勤務先、車両登録番号、保険会社名、証券番号、保険会社連絡先などをメモする。その際、相手の書類にサインしたり、自分の過失を認める言動をしたりしない。

- キ 保険会社に電話し、手続きについて指示を受ける。
- ク 警察官が到着後、当事者双方が現場検証に立ち会う。

(5) パトカーが後方からライトを点滅して近づいてきたら

- ア 速やかに道路脇へ停車する。
- イ パトカーがあなたの車の後方で停車したときは、警察官が出てきてあなたに近づいてくるまで待つ。警察官はまず車のナンバー等について警察署に報告等を行ってから出てくるため、数分から10分くらい待つ必要がある。その間、自分から車を出てパトカーに近づくことは警察官への敵対行為と見なされるおそれがある。
- ウ 武器を所持していると誤解されないように、両手はハンドルの上に置いたままにし、勝手にダッシュボードを開けたり、鞆を開いたりしない。
- エ 警察官の指示に従い、質問に対して協力的に対応する。

4 法律・習慣の違いによるトラブル

日本ではほとんど問題とならない行為も、米国では犯罪として厳しい処罰の対象になることがあります。特に家族や子供に対する考え方が日米で大きく異なりますので、十分注意してください。

(1) 家庭内暴力 (Domestic Violence : DV)

- ア 夫婦喧嘩や親子喧嘩であっても、周囲に聞こえるような大声を上げたり、騒いだりすることは、隣家から家庭内暴力 (ドメスティック・バイオレンス) と捉えられ警察に通報されることもあります。米国においては、家庭内暴力に対して日本と比較にならないほど厳しい施策がとられており、当事者双方の意思と関係なく、当事者の一方が逮捕されることがあります。
- イ 被害に遭った場合、一番大切なのは、ご自身及び子供の身の安全です。被害を受けたときは、DV 支援団体等に相談し、身の危険を感じたときは、躊躇することなく 911 番に電話し、警察を呼んでください。また、当館においても相談を受け付けていますので、一人で悩むことなく、お電話で結構ですので、総領事館にご相談して下さい。自分ではDV被害に遭っているかどうかわからないという場合でも、配偶者や交際相手から暴力を受けたという方は、一度ご相談ください。もちろん、プライバシーには十分配慮いたします。
- ウ 警察を呼んだ場合、通常、警察は仲裁等を行わず、現在そこにある危険

を排除するため、加害者を逮捕、拘束します。その後、いつ釈放されるかは事案の内容によりますが、釈放後も、多くの場合は、裁判所から接近禁止令が出され、加害者は被害者に近づくことを禁止されます。夫が逮捕されることに抵抗を感じ、警察への通報を躊躇される方もいるかもしれませんが、身を守るためには警察への通報が一番の方法です。また、DVを事件化することは、後に離婚、子の親権に関する裁判に発展した際の重要な要素となります。

エ 米国では各地にDV支援団体があります。まずは全米DVホットライン (National Domestic Violence Hotline) 1-800-799-7233,

<http://www.thehotline.org/>

にアクセスして、最寄りの相談所、シェルターの紹介を受けることをお勧めします。同ホットラインでは、英語が堪能でない方のために外国語による相談も受け付けているとのこと。DV支援団体では法的アドバイスを受けることや弁護士を紹介を受けることも可能です。

(2) 児童虐待について

ア 「児童虐待」に関する規定は各州によって異なりますが、イリノイ州では、6歳未満の子供を車両内に監護者なしで10分以上残すことは法律で禁止されています。6歳以上であっても、客観的にみて危険性があると判断される場合は、児童虐待等として警察に通報される場合があります。

イ イリノイ州では小さな子供を家に一人で残すことを直接禁止する法律はありませんが、常識的に自分自身で適切な判断・行動ができる年齢までは親の保護が必要と考えられています。特に、14歳未満の子供を家に一人で残した際に、子供の身体や精神に危険が発生した場合は育児放棄または児童虐待の容疑がかけられることがあります。

子供を一人で留守番させることができる目安は、どのような事態が発生しても子供自身の判断で身を守る、保護を求める等適切な行動をとることができることです。911番通報や警察官やその他の人に対して英語で適切な対応ができることは最低の条件といえます。

ウ 上記以外にも、公衆の面前で子供に対して大声を出すなど過度と捉えられるしかり方は虐待行為と見なされ、また、たとえ子供が小さくても父親が娘と一緒に入浴したり、入浴中の写真を撮ることは性的虐待行為としてそれぞれ処罰の対象となる可能性があります。

(3) 子の親権問題

子供がいる家庭において、DV被害から身を守るため、あるいは破綻し

婚姻生活をやり直すため、子供を連れて日本に帰ろうと思う方もいるかもしれませんが、米国においては、他の親権者の同意なく子供を国外へ連れ出すことは誘拐罪や子の親権妨害罪等に問われ、逮捕されることがあり、実際に逮捕されたケースも発生していますので、この点十分にご留意ください。子供を連れて日本に帰ることを希望する場合は、まず弁護士等に相談してください。

(4) 少年夜間外出禁止令

米国の多くの都市では、少年夜間外出禁止令（Curfew）が制定されており、一定の年齢未満の少年が、規制された時間帯に、保護者（保護者に託された者を含む）を同伴せず外出していた場合、違反となります。また、事情を知りながら少年を外出させていた保護者も違反となります。違反者には罰金（シカゴでは500ドル以下）、または社会奉仕、あるいは、その両方が課されます。一年間に3回違反すると、1,500ドル以下の罰金、または社会奉仕、あるいはその両方が課されるというシカゴのように、違反が重なると厳罰となる場合もあります。

夜間は昼間に比べて犯罪が多発しており、少年が犯罪に巻き込まれる可能性が非常に高いので、外出禁止令の有無に関わらず、お子様達を単独で外出させないようにご注意ください。

規制時間帯は都市によって異なりますので、詳しくはお住まいの町の条例をご覧ください。なお、当館管轄区域内の主な都市の規制時間は以下のとおりです。

Ⅲ テロ、大規模自然災害等緊急事態発生時の対応

米国において緊急事態として予想されるものには、テロ、ハリケーン、竜巻、集中豪雨、ブリザードなどがありますが、これらに対する皆さんの安全対策は万全でしょうか。身近な犯罪には安全対策を講じていても、自然災害への対応は十分でないこともあります。自然災害は全く予想できないこともありますので、日頃からその対応策を考えておく必要があります。

1 在留届の提出

(1) 在留届とは

海外に3か月以上滞在される方は、最寄りの在外公館に在留届を提出す

ることが旅券法により義務づけられています。当館管轄区域にお住まいで、まだ在留届を提出されていない方は、提出をお願いします。

(2) 在留届のメリット

在留届が提出してあれば、大規模自然災害等の緊急事態発生時、在外公館が在留届の内容を基に皆様方に連絡を行い、各種情報の提供や皆様の安否確認を行うことができます。逆に、在留届の提出のない方については、当館で所在を把握できないため、当館からの連絡や情報提供が困難になります。

(3) 当館メールマガジン

在留届提出の際、Eメールアドレスを当館にお届けしていただくと、当館より当地で生活する上で有益と思われる安全情報や領事関連情報、広報・文化行事関連情報、経済情勢等の各種情報を掲載したメールマガジンを配信致します。（不定期配信。詳細は当館ホームページをご覧ください。）

<http://www.chicago.us.emb-japan.go.jp/indexjp.html>

(4) 変更届

既に当館に在留届を提出されている方で、住所、電話番号、Eメールアドレス等の記載事項に変更がある場合は変更届の提出をお願い致します。また、帰国等、当地から転出される場合は、必ず転出届の提出をお願いします。

(5) 提出方法

在留届及び変更届の用紙に記入の上、当館領事窓口へ提出していただくか、または郵送、FAXで当館宛に送付して提出することもできます。用紙は当館領事窓口へ備え付けてあります。遠方の方は連絡を頂ければ郵送致しますし、領事出張サービスを利用して提出することもできます。用紙は当館ホームページからもダウンロードできます。その他、外務省の「在留届電子届出システム（ORR ネット）（<http://www.ezairyumofa.go.jp/>）」を利用し、インターネットを通じて提出することも可能です。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

2 平素の準備

(1) 家庭や職場などで、自然災害が発生した場合の集合場所を予め決めておく。場所は2ヶ所決めます。一つは家のすぐ近く。もう一つは近所の建物、例えば図書館やコミュニティーセンター、教会などです。

(2) 自宅付近の病院、最寄りの警察署、総領事館等の所在地、連絡先を予め

確認しておく。(リストの作成)

- (3) 災害時に家族がばらばらになってしまったときのために、家族のメンバーが電話できる州外の友人または親類を決めておく。市内回線がつかない場合は、遠距離電話の方がつながりやすいこともある。
- (4) 家庭や職場などで、自然災害を想定した訓練を実施する。
- (5) 災害時必需品の準備 (別添チェックリスト参照)

3 発生時の措置

- (1) 避難の指示が出された場合には、直ちに指示に従う。
- (2) 沈着冷静な行動を心がける。根拠のない「噂」に惑わされない。
- (3) 群集心理に影響されない行動をとるように注意する。
- (4) 暴動等が発生した場合、暴徒には近寄らないように注意する。
- (5) ラジオ、テレビ、インターネット等から、情報入手に努める。

4 テロ関係

(1) テロ情勢

米務省は、米国民及び米国権益を対象としたテロ攻撃や反米暴力活動の脅威は依然として存在するとして警告を発しています。シカゴ市は、高層ビルが建ち並ぶ全米第3位の都市であり、また、オバマ大統領の出身地でもあることから、当地治安当局では、シカゴ市がテロの攻撃の対象となる可能性は非常に高いと認識しています。

(2) テロ対策

ア 外務省「海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp>)」や当地のテレビ、ラジオ、新聞等の関連記事に関心を持ち、常に最新の関連情報の入手に努める。

イ 空港、駅、政府施設、スタジアム、アリーナ等、テロの標的となる可能性のある施設には、用事がないときにはできるだけ近付かない。訪れた際は、周囲の状況その他の動向を観察して、不審者や不審物件等の危険な兆候がないか注意する。

ウ 不審物件を見かけたときは、直ちに911番に電話し、警察に通報する。

5 オンライン安否照会システム

外務省は、2011年7月より、海外での大規模緊急事態の際に外務省海外安全ホームページ上で邦人の安否を確認する新しいシステム「オンライン安否

照会システム」を開設しました。

「オンライン安否照会システム」とは、海外で大規模な災害・事件が発生して邦人が多数巻き込まれる可能性がある場合に、外務省の海外安全ホームページ上で安否照会を本邦及び海外の照会者が依頼することができるシステムです。照会者は、受付の際に与えられる受付番号とパスワードにより、その後いつでも、外務省や在外公館が実施する安否確認の結果や情報の更新を同ホームページ上で確認することができます。

本システムは、大規模な緊急事態が発生した際にのみ外務省の海外安全ホームページ上に立ち上げられ、利用が可能となります。平時はホームページ上に利用案内のみが掲載されています。災害・事故が比較的小規模な場合は、これまで同様、安否照会は海外邦人安全課（誘拐・テロの場合は邦人テロ対策室）で受け付けます。なお、本システムは、災害・事件の発生から1か月を経過した時期を目処に閉鎖することになります。引き続き、安否の確認が必要な場合は、務省海外邦人安全課等が直接の窓口となります。

原則として、安否照会の対象は日本人です。また、混乱を避けるため、照会者は被照会者の二親等以内の親族に限定させていただきます。なお、利用料金は無料です。詳しい利用方法は外務省海外安全ホームページをご覧ください。

6 シカゴ地域緊急連絡先

●在シカゴ日本国総領事館

737 N. Michigan Ave. Chicago, IL 60611 U. S. A.

Tel:1-312-280-0400

Fax:1-312-280-9568

URL:<http://www.chicago.us.emb-japan.go.jp/indexjp.html>

●警察、救急、消防：911

●警察：緊急時以外

シカゴ市警察：312-744-4000

アーリントンハイツ警察：847-368-5300

シャンバーグ警察：847-895-4500

ホフマンエステート警察：847-781-2800

●緊急事態

イノイ州非常事態庁（IEMA）：<http://www.state.il.us/iema/index.asp>

連邦緊急事態管理庁（FEMA）：<http://www.fema.gov/>

国土安全保障省：<http://www.ready.gov/>

●外務省「海外安全ホームページ」：<http://www.anzen.mofa.go.jp>

在シカゴ総領事館管轄区域内主要都市の罪種別犯罪発生状況(出典:2011年FBI統計)

州	都市	人口	凶悪犯罪	(発生率)	殺人	強姦	強盗	傷害	財産犯罪	(発生率)	侵入盗	窃盗	自動車盗	放火
IL	Arlington Heights	75,327	48	63.72	2	5	17	24	1,083	1,437.73	170	892	21	5
IL	Barrington	10,358	4	38.62	0	4	0	0	148	1,428.85	28	114	6	2
IL	Bloomington	22,084	15	67.92	0	4	5	6	717	3,246.69	52	653	12	1
IL	Bloomington			#DIV/0!	1	43	75	266	1,960	#DIV/0!	493	1,414	53	11
IL	Buffalo Grove	41,621	9	21.62	0	3	4	2	432	1,037.94	59	361	12	0
IL	Carbondale	25,980	272	1,046.96	1	32	38	201	1,116	4,295.61	320	768	28	10
IL	Chicago	2,703,713	N/A	N/A	431	N/A	13,975	12,408	118,239	4,373.21	26,420	72,373	19,446	
IL	Elk Grove Village	33,227	17	51.16	0	5	2	10	817	2,458.84	112	626	79	2
IL	Evanston	74,710	176	235.58	3	4	76	95	2,126	2,845.67	403	1,669	54	18
IL	Hoffman Estates	52,051	68	130.64	0	15	16	37	682	1,310.25	119	538	25	0
IL	Mount Prospect	54,330	34	62.58	0	2	12	20	676	1,244.25	70	583	23	1
IL	Northbrook	33,270	12	36.07	0	4	4	4	465	1,397.66	80	381	4	0
IL	Oak Park	52,034	141	270.98	0	7	102	32	1,692	3,251.72	394	1,226	72	1
IL	Palatine	68,763	41	59.63	1	10	11	19	814	1,183.78	38	749	27	0
IL	Roselle	22,832	18	78.84	0	7	4	7	257	1,125.61	45	205	7	0
IL	Schaumburg	74,450	63	84.62	0	14	23	26	2,358	3,167.23	238	2,056	64	1
IL	Streamwood	39,978	39	97.55	1	4	17	17	620	1,550.85	96	511	13	1
IL	Urbana	41,374	197	476.14	1	35	74	87	1,464	3,538.45	382	1,055	27	9
IL	Vernon Hills	25,169	17	67.54	1	4	3	9	588	2,336.21	51	535	2	1
IL	TOTAL		55,835	#DIV/0!	706	3,033	20,054	32,042	343,989	#DIV/0!	75,399	239,794	28,796	
IN	Bloomington	80,816	244	301.92	4	18	58	164	3,072	3,801.23	601	2,300	171	15
IN	Carmel	79,596	17	21.36	1	8	2	6	831	1,044.02	69	729	33	0
IN	Columbus	44,286	84	189.68	1	7	20	56	2,597	5,864.16	303	2,087	207	3
IN	Evansville	118,029	491	416.00	3	56	154	278	5,456	4,622.59	1,074	4,151	231	88
IN	Fort Wayne	254,987	785	307.86	24	94	310	357	9,036	3,543.71	1,888	6,768	380	41
IN	Greenwood	50,045	177	353.68	2	0	24	151	1,777	3,550.80	130	1,570	77	4
IN	Lafayette	67,483	408	604.60	3	38	48	319	3,000	4,445.56	635	2,190	175	20
IN	Seymour	17,592	82	466.12	1	3	5	73	1,093	6,213.05	153	881	59	3
IN	Terre Haute	61,095	152	248.79	4	17	91	40	3,942	6,452.25	934	2,725	283	42
IN	West Lafayette	29,747	53	178.17	0	3	6	44	459	1,543.01	58	383	18	0
IN	TOTAL	6,483,802	20,389	314.46	292	1,761	6,219	12,117	197,260	3,042.35	47,115	137,027	13,118	
IA	Cedar Rapids	126,988	358	281.92	2	41	86	229	4,879	3,842.10	1,099	3,566	214	17
IA	Des Moines	204,498	1,069	522.74	8	103	216	742	10,727	5,245.53	2,493	7,400	834	44
IA	Iowa City	68,217	163	238.94	0	24	18	121	1,580	2,316.14	326	1,207	47	8
IA	TOTAL	3,046,355	8,333	273.54	39	836	1,011	6,447	68,315	2,242.52	16,656	47,883	3,776	

KS	Lawrence	88,200	335	379.82	0	33	37	265	3,793	4,300.45	502	3,098	193	14
KS	Overland Park	174,473	289	165.64	2	60	38	189	4,015	2,301.22	468	3,237	310	38
KS	Wichita	384,796	2,950	766.64	25	238	490	2,197	19,456	5,056.19	4,005	13,550	1,901	139
KS	TOTAL	2,853,118	10,531	369.10	100	1,107	1,544	7,780	89,015	3,119.92	19,404	63,602	6,009	
MN	Minneapolis	385,531	3,722	965.42	32	386	1,589	1,715	19,190	4,977.55	5,104	12,311	1,775	140
MN	Rochester	107,593	N/A	N/A	1	N/A	65	102	2,323	2,159.06	425	1,809	89	20
MN	St. Paul	287,665	1,885	655.28	8	169	604	1,104	11,932	4,147.88	3,197	6,890	1,845	106
MN	Woodbury	62,439	N/A	N/A	0	N/A	4	14	1,300	2,082.03	192	1,066	42	2
MN	TOTAL	5,303,925	12,515	235.96	96	1,798	3,388	7,233	136,431	2,572.26	24,415	103,429	8,587	
MO	Chesterfield	47,657	33	69.24	0	3	9	21	745	1,563.25	76	654	15	1
MO	Columbia	108,894	582	534.46	2	37	166	377	4,263	3,914.82	798	3,323	142	16
MO	Kansas City	461,458	5,536	1,199.68	108	265	1,665	3,498	25,545	5,535.72	6,848	15,305	3,170	302
MO	St. Louis	320,454	5,950	1,856.74	113	188	2,127	3,522	25,669	8,010.20	7,015	15,285	3,369	191
MO	TOTAL	5,988,927	27,252	455.04	420	1,432	6,132	19,268	200,414	3,346.41	44,043	140,320	16,051	
NE	Kearney	31,052	45	144.92	0	9	2	34	861	2,772.77	129	714	18	4
NE	Lincoln	260,685	966	370.56	4	166	177	619	10,189	3,908.55	1,401	8,424	364	25
NE	Omaha	412,608	2,309	559.61	43	220	696	1,350	18,764	4,547.66	3,321	12,793	2,650	91
NE	TOTAL	1,826,341	5,104	279.47	54	672	1,025	3,353	48,821	2,673.16	8,326	36,881	3,614	
ND	Fargo	107,329	384	357.78	1	42	47	294	2,671	2,488.61	423	2,120	128	13
ND	Grand Forks	53,729	133	247.54	0	32	8	93	1,533	2,853.21	306	1,130	97	6
ND	TOTAL	672,591	1,513	224.95	10	237	90	1,176	11,895	1,768.53	1,966	9,070	859	
SD	Rapid City	68,782	437	635.34	3	99	57	278	2,960	4,303.45	560	2,244	156	9
SD	Sioux Falls	155,760	440	282.49	5	108	75	252	4,707	3,021.96	880	3,554	273	60
SD	TOTAL	814,180	2,186	268.49	23	390	154	1,619	15,082	1,852.42	3,181	11,106	795	
WI	Madison	234,225	815	347.96	8	74	272	481	7,936	3,388.20	1,440	6,152	344	50
WI	Milwaukee	597,426	5,969	999.12	85	194	2,963	2,727	30,097	5,037.78	6,669	18,890	4,538	262
WI	TOTAL	5,686,986	14,142	248.67	155	1,187	4,504	8,296	142,612	2,507.69	26,566	107,908	8,138	
USA	TOTAL	308,745,538	1,246,248	403.65	14,748	84,767	367,832	778,901	9,082,887	2,941.87	2,159,878	6,185,867	737,142	

本資料は、FBIが公表したデータを基に、在留邦人の比較的多い都市を抽出して取りまとめたものです。

犯罪統計をFBIに提出していない都市もあるため、例えばインディアナ州インディアナポリス等、在留邦人数が多くても掲載されていない都市があります。

凶悪犯罪とは、殺人、強姦、強盗、傷害の4つを指します。

財産犯罪とは、侵入盗、窃盗、自動車盗、放火の4つを指します。

発生率とは、人口10万人当たりの発生件数を指します。

イリノイ州Chicago市、ミネソタ州Rochester市、同州Woodbury市は、犯罪統計の計上方法がFBIと異なるため、凶悪犯罪の発生件数は不明となっています。

緊急事態に備えてのチェックリスト

1. 旅券

- 6か月以上の残存有効期間があるか
- 最終ページの「所持人記載欄」は記載しているか
- 血液型を記載しているか
- その他の写真付き ID はあるか

2. 現金等

- 現金
- 貴金属
- 貯金通帳, 有価証券
- クレジットカード

3. 自動車

- 整備されているか (特にバッテリー)
- ガソリンは3分の2以上あるか
- 車内に, 懐中電灯, 地図等は備えているか

4. 携行品

- 衣類, 着替え (長袖, 長ズボン, 吸湿性, 耐暑性及び耐寒性に富むもの)
- 履き物 (靴底が厚く頑丈なもの)
- 洗面用具 (タオル, 歯磨きセット, 石けん等)
- ラジオ, 携帯電話, 充電器, 電池 (多量)
- ライター, マッチ, ろうそく, 固形燃料
- ナイフ, 缶切り, 栓抜き, 簡易軽量食器, 割り箸
- 毛布, 寝袋, 雨具

5. 非常用食料

- 保存食 (米, 調味料, 缶詰類, インスタント食品, 粉ミルク等)
- ミネラルウォーター (目安: 1人1日当たり1ガロン)
- 家族全員で1週間分が確保されているか

6. 医薬品

- 家庭用常備薬・常用薬, 外傷薬, 消毒薬, 包帯・絆創膏